

食品安全委員会の 11 月の運営について（報告）

1. 食品安全委員会の開催

第 166 回 11 月 2 日（木）

- ・食品添加物公定書の改正に伴う「食品、添加物等の規格基準」の改正等に関する事項について、「既存添加物 61 品目に係る 63 成分規格及び一般飲食添加物 1 品目に係る 1 成分規格を作成すること」及び「指定添加物 13 品目に係る 14 成分規格及び既存添加物 14 品目に係る 13 成分規格について純度試験の見直し等の改正を行うこと」並びに「食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当することの可否」について検討し、専門調査会の審議は必要ないとして、長尾委員を中心に委員会で評価書素案等を取りまとめることを了承。
- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告（「フルニキシメグルミン」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・米国産牛肉の輸入手続再開後の状況について厚生労働省から説明
- ・食品安全委員会の 10 月の運営について報告

第 167 回 11 月 9 日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（農薬 / 動物用医薬品「アミトラズを有効成分とするみつばちの寄生虫駆除剤（アピバール）（ポジティブリスト制度関連）」）について農林水産省から説明
- ・食品健康影響評価の要請（動物用医薬品 7 品目「マルボフロキサシンを有効成分とする牛及び豚の注射剤（マルボシル 2 %、同 10 %）」、「ジノテフランを有効成分とする動物体に直接適用しない動物用殺虫剤（フラッシュベイト、エコスピード）」、「リン酸タイロシンを有効成分とする豚の経口投与剤（動物用タイロシンプレミックス「A」2 %、同 10 %、同 20 %）」、「鶏マレック病（マレック病ウイルス 1 型・七面鳥ヘルペスウイルス）凍結生ワクチン（クリオマレック（R I S P E N S + H V T）」、「鶏マレック病（マレック病ウイルス 2 型・七面鳥ヘルペスウイルス）凍結生ワクチン（2 価 M D 生ワクチン（H V T + S B - 1 ）」、「豚伝染性胃腸炎・豚流行性下痢混合生ワクチン（日生研 T G E ・ P E D 混合生ワクチン、スィムジェン T G E / P E D）」及び「豚オーエスキー病不活化ワクチン（「京都微研」豚オーエスキー病不活化ワクチン）」について農林水産省から説明
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告（「アゾキシストロビン」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告（「ケラチナーゼを有効成

分とする洗浄剤（ブリオザイム）」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）

- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成１８年１０月分）について報告
- ・米国産牛肉の混載事例について厚生労働省及び農林水産省から報告

第１６８回 １１月１６日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（乳及び乳製品の成分規格等に関する省令の改正に係る乳等に使用できる容器包装（ポリエチレンテレフタレートを主成分とする合成樹脂））について厚生労働省から説明
- ・食品添加物公定書の改正に伴う「食品、添加物等の規格基準」の改正に係る評価書案について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定
- ・食品安全基本法第１１条第１項第１号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないとき（食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないとき（試験法の改良等に係る食品添加物の規格基準の改正など）についての照会）について検討し、食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当することを確認
- ・新開発食品専門調査会における審議状況について報告（「明治満足カルシウム」及び「カルシウム強化スキム」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品健康影響評価（農薬「ベンチアバリカルブイソプロピル」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（動物用医薬品３品目「鶏のトリニューモウイルス感染症生ワクチン（ノビリスＴＲＴ・１０００）」、「豚のアクチノバシラス・プルロニューモニエ感染症不活化ワクチン（ポーシリスＡＰＰ、ポーシリスＡＰＰ「」）」及び「豚オーエスキー病生ワクチン（スバキシン オーエスキー フォルテ、スバキシン オーエスキー フォルテ ＭＥ）」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣及び農林水産大臣に通知）
- ・「食の安全に関するリスクコミュニケーションの改善に向けて（案）」について検討し、決定
- ・アアメシバに関する調査についての報告

第１６９回 １１月３０日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（飼料添加物３品目「グルコン酸カルシウム」、「ニギ酸カリウム」及び「ギ酸カルシウム」）について農林水産省から説明
- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告（「セフチオフルを有効成分とする牛及び豚の注射剤（エクセネル注）」、「鶏マレック病（マレック病ウイルス１型・七面鳥ヘルペスウイルス）凍結生ワクチン（クリオマレック（ＲＩＳＰＥＮＳ ＋ ＨＶＴ））」、「鶏マレック病（マレック病ウイルス２型・七面鳥ヘルペスウイルス）凍結生ワクチン（２価ＭＤ生ワクチン（ＨＶＴ＋ＳＢ－１））」、「豚伝染性胃腸炎・豚流行性下痢混合生ワクチン（日生研ＴＧＥ・

PED混合生ワクチン、スィムジェンTGE / PED)」及び「豚オーエスキー病不活化ワクチン（“京都微研”、豚オーエスキー病不活化ワクチン）」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）

- ・食品健康影響評価（動物用医薬品3品目「イベルメクチン及びブラジクアンテルを有効成分とする馬の経口投与剤（エクイバランゴールド）」、「イベルメクチン及びブラジクアンテルを有効成分とする馬の経口投与剤（エクイマックス）」及び「ブラジクアンテルを有効成分とするすずき目魚類用寄生虫駆除剤（水産用ベネサル、ハダクリーン）」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣及び農林水産大臣に通知）
- ・食品安全モニターからの報告（平成18年10月分）について報告

2 専門調査会の運営

（1）添加物専門調査会

第38回 11月28日（火）

- ・「次亜塩素酸水」、「ポリビニルピロリドン」及び「リン酸一水素マグネシウム」について検討し、に関して一部修正のうえ、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

（2）農薬専門調査会

第6回幹事会 11月1日（水）

- ・「アゾキシストロビン」について検討し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第6回総合評価第一部会 11月1日（水） 非公開

- ・「クロルピリホス」について検討し、農薬専門調査会幹事会に報告することを決定

第1回確認評価第三部会 11月13日（月） 非公開

- ・「ウニコナゾールP」について検討し、農薬専門調査会幹事会に報告することを決定

第7回幹事会 11月20日（月）

- ・「クロルピリホス」について検討し、一部修正のうえ国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第6回総合評価第二部会 11月20日（月） 非公開

- ・「カズサホス」、「フルフェノクスロン」及び「オキシリニック酸」について検討し、及び「フルフェノクスロン」について農薬専門調査会幹事会に報告することを決定

第1回確認評価第二部会 11月27日(月)

- ・フルアジナムについて検討

(3) 動物用医薬品専門調査会

第63回 11月17日(金)

- ・ 「鶏マレック病(マレック病ウイルス1型・七面鳥ヘルペスウイルス)凍結生ワクチン(クリオマレック(RISPENS + HVT))」, 「鶏マレック病(マレック病ウイルス2型・七面鳥ヘルペスウイルス)凍結生ワクチン(2価MD生ワクチン(HVT + SB - 1))」, 「豚伝染性胃腸炎・豚流行性下痢混合生ワクチン(日生研TGE・PED混合生ワクチン、スィムジェンTGE/PED)」, 「豚オーエスキー病不活化ワクチン("京都微研"豚オーエスキー病不活化ワクチン)及び「セフチオフルを有効成分とする牛及び豚の注射剤(エクセネル注)」について検討し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第64回 11月17日(金) 非公開

- ・ 「メロキシカム」及び「トルトラズリル」について検討

(4) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第21回 11月21日(火) 非公開

- ・ 「高リシントウモロコシLY038系統」, 「チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ6275系統」及び「ジェランガムK3B646」について検討

(5) かび毒・自然毒等専門調査会

第7回 11月27日(月)

- ・ 専門委員から紹介された、かび毒・自然毒等に関する最新の動向等を踏まえ、リスク管理機関と連携しつつ、リスク評価の根拠となるデータの収集等に努めていくことを決定。

3. 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

11月10日(金) 食品に関するリスクコミュニケーション(農薬に関する意見交換会) <福井県福井市>

- ・ 食品安全委員会、厚生労働省及び農林水産省北陸農政局の主催により、福井県福井市にて開催し、農薬に関する情報提供として、農林水産省、厚生労働省、東京大学農学部助教授の根岸寛光氏、(財)残留農薬研究所理事長の寺元昭二氏からの説明の後、各説明者、食品安全委員会、食品関連事業者等をパネリストとしてパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

1 1月13日(月) いしかわ食の安全・安心シンポジウム <石川県金沢市>

- ・食品安全委員会及び石川県の主催により、石川県金沢市にて開催し、高橋久仁子リスクコミュニケーション専門調査会専門委員から「"食品の情報"を見極める！～フードファディズムに流されない食生活を目指して～」のテーマで基調講演を行うとともに、生産者、消費者、食品関連事業者等の立場のパネリストを迎えてパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

1 1月15日(金) しが食の安全・安心シンポジウム <滋賀県栗東市>

- ・食品安全委員会、農林水産省近畿農政局、滋賀県等の主催により、滋賀県栗東市にて開催し、唐木英明リスクコミュニケーション専門調査会専門委員から「食の安全・安心～人はなぜ不安になるのか？～」のテーマで基調講演を行うとともに、生産者、消費者、食品関連事業者等の立場のパネリストを迎えてパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

(2) 関係団体等との懇談会

1 1月2日(木) 食品企業の広報担当者と食品安全委員会委員との懇談会

- ・食品企業の広報担当者から見た食品に関する消費者とのリスクコミュニケーションの現状と課題について意見交換を実施

4. その他

1 1月21日(火) 地域の指導者育成講習会(福岡) - 食の安全情報の共有化を目指して -

- ・食品安全委員会、(独)農林水産消費技術センター門司センター及び福岡市の主催で開催し、小泉直子食品安全委員会委員から「食品安全とその安心への取組について」のテーマで講演を行うとともに、講師の順天堂大学医学部堀口逸子博士からのリスクコミュニケーションと演習に用いるゲーミングシミュレーションについての説明後、参加者がグループに分かれ演習を実施